



上) 関東圏を中心に11人が参加。山ツツジが咲く大火山にて。 左) ゲストで俳優の春名風花さんも保存会の手ほどきで田植踊を体験。

「飯館YOITOKO発見!ツアー」 通算7回目のツアーを開催

5月12日の『飯館YOITOKO発見!ツアー』。交流センター「ふれ愛館」で『小宮の田植踊』を鑑賞し、かつて村営牧場があった大火山にて、飯館牛のブランド化に関わった山田猛史さん(関根・松塚)の講話を聞きました。また、ランチは「飯館村食を考える会」手製の「田植食」。村民と交流しながら、地元の新鮮な食材も味わいました。さらに「肉のゆーとぴあ」では、飯館産黒毛和牛を試食し、店主・山田豊さん(関根・松塚)の思いにも触れた一行。「1日で飯館村のファンになった」「またぜひ来たい」とツアーを満喫した様子で話していました。

春日部市の「藤まつり」にて 飯館村をPR

村は、4月28日埼玉県春日部市の「藤まつり」に出展し、特産品の販売を通して、飯館村をPRしました。同まつりは春日部市民に愛される恒例行事で、模擬店の出店やパレードなどが行われ、村としては昨年に引き続き出展となりました。

村のブースでは地域おこし協力隊の高橋洋介さん(Cocitto)が地元食材を生かしたパウンドケーキを販売し、併せて村の魅力や特産品をPRしました。



左) 長期にわたり支援と交流をいただいている春日部市の岩谷一弘市長(右)と杉岡村長。上)賑わう村のブース。



ピアノのメロディに自然の音を散りばめて。映像詩にも心を揺さぶられる守時さんならではのコンサート。

飯館の春の新曲を披露 守時タツミコンサート

自然の音や風景の映像とピアノ演奏を融合させた守時タツミさんのコンサート『景色の見える音楽会』が、5月18日、交流センター「ふれ愛館」で開かれました。守時さんはこれまで、飯館の夏・秋・冬をイメージした曲を発表してきました。そして、今回のコンサートでは春の新曲「2023飯館～花～」を披露。これで春・夏・秋・冬、全ての季節の曲が完成したことになります。飯館では6回目となるコンサートに、村内外から約70人が来場し、守時さんの奏でる美しいピアノに聴き入っていました。

福島県立医大保健科学部 今年度の村内実習がスタート

村は、令和4年に福島県立医科大学と包括連携協定を締結し、村民の健康福祉に関する取り組みを進めながら、医療人材の育成に協力しています。5月1日、今年度初回の実習が「いいたてホーム」で実施され、同大保健科学部の学生が、施設職員の講義を受け、先生方の指導の下、臨床実習を行いました。サロン等でのレクリエーション実習を含め、今年度の村内実習は、計12回が計画されています。入居者の皆さんは徐々に打ち解けて学生との交流を楽しみ、帰り際には「また来てね」と声を掛けていました。



5月22日の実習の様子。昔懐かしい遊びや話題を取り入れた作業療法実習が和やかに行われていました。



杉岡村長から委嘱状の交付を受ける渡邊隊長。防犯へのご協力を引き続きよろしくお願いします。

飯館村防犯指導隊 委嘱状等交付式

5月21日、村役場にて『南相馬地区防犯指導隊委嘱状等交付式』が執り行われました。南相馬地区防犯指導隊は、南相馬市原町区・鹿島区・小高区と飯館村の4地区で構成され、防犯活動を通して地域の安全を確保することを目的とした組織です。式では、飯館地区隊長である渡邊富士男さん(飯樋町)が代表で委嘱状の交付を受け、隊員全員が改めて地域防犯への意識を強く持ちました。

また、渡邊隊長は、同式の中で、南相馬地区防犯指導隊副隊長の任命も受けました。

相馬看護専門学校が実習 地域に寄り添う看護を見つめて

5月8日・10日・14日に、『相馬看護専門学校』の学生が村内で実習を行いました。同校は、飯館村と相馬市・南相馬市・新地町の2市1町1村で構成する「相馬地方広域市町村圏組合」が、地域保健医療の担い手となる看護師の養成機関として設立した公立の学校で、平成13年に開校しました。村内での実習は、令和5年度から実施されています。

学生の皆さんは村役場で、飯館村の医療・看護に関する取り組みについて職員の講話を聞き、保健師の訪問活動にも同行しました。



5月8日に来村した皆さん。代表が「地域性を理解し看護の学びに役立てたい」と実習の目標を発表しました。